

## 《平成24年6月議会質問及び回答要旨》

### 1. 外国資本による森林買収について

《回答：農林水産部長》

外国資本による森林買収については、平成22年10月以降3回の調査を行っている。その結果、平成18年1月から平成23年12月の期間において、島根県ではその事例は確認されていないが、今後市町村や県の関係部局と情報の共有に努めていきたい。

《回答：環境生活部長》

外国資本の森林取得に関連して、県では地下水の保全と利用について調査するため、昨年12月に関係課で地下水取得等の連絡会議を設置しており、国や他県の動向、さらには県内の地下水取得の状況などについて情報共有化を図っているところであるが、今後も引き続き関係部局が連携し、国や他県の動向に注視するとともに、県内の情報把握に努めていきたい。

### 2. がん登録について

《回答：健康福祉部長》

地域がん登録は医療機関のがんの診療情報を県単位で集計し、県内のがんを把握する仕組みで、島根県では平成22年度から実施しているが、この仕組みは、県内でどれぐらいの方がんと診断されているのかなどの、がんについての基礎データを把握するためのものであり、県ががん対策を実施する上で欠かすことの出来ないものと考えている。

しかし、現在の県のがん対策推進計画において、地域がん登録を実施する医療機関の目標数として47病院を掲げているが、現時点で28病院という状況である。そのため、今後がん登録研修会を実施し、登録実務者を養成し、がん登録を実施する医療機関をふやし、地域がん登録の拡大に努めていきたいと考えている。

### 3. 発達障がいについて

《回答：健康福祉部長》

発達障がいの早期発見については、適切な支援に向けて大変重要な課題と認識しており、現在、全市町村において、1歳6ヶ月健診や3歳児健診などにおいて、小児科医、保健師、臨床心理士などの専門職を配置し、問診や診療を行っているが、その中で言葉の遅れや視線が合わないなど気になる子については、専門医による発達相談（発達クリニック）につなげ、早期発見に取り組んでいる。

しかし、こうした活動の中において、早期発見や支援につながらないケースがあるため、早期発見や支援にかかわる保健師や保育士などのさらなる専門性の向上を図るため、各種研修会を実施し、関係職員のスキルアップに務めている。

### 4. ふるまい向上について

《回答：知事》

ふるまいは、それぞれの人の礼儀作法、あいさつであり、しぐさであり、モラルでありルールであり、しつけであり道徳であり、倫理観であり、生活行動であり生活動作であり、全体としてそういうものの総称である。このふるまいがいいということは、他の人にとって気持ちがいいということであり、また困っている人に親切にしてあげるということでもあるが、島根県はそういうものがよく残っている地域であると考えているので、今後も教育委員会とともに、ふるまい向上に取り組んでいきたいと考えている。